



ドイツのピッキングマシーン **Vmax** 導入! JACP会員薬局1号店

JR和歌山駅前に 関西薬局・和歌山店が開局しました

共和メディカル株式会社 代表取締役 杉浦万正 / 取締役薬局事業部長 川原 淳

JACPのドイツ薬学視察旅行にてドイツの薬局を廻り、以下の様なことを強く感じました。

＊管理者＝オーナーが地域密着で、地域に根付くべく、様々な活動をされていること。

＊先端調剤機器を入れていること。

＊780年前に医薬分業をスタートした「誇りと重み」を痛感。

日本に戻り、この薬剤師の原点となる医療人としての誇りと重みを感じれるような薬局(ハード)を作り、そのステージを通じて、本質的なメッセージ(薬剤師としてあるべき姿。医療人として、目の前の患者に尽くす、地域貢献する)を主役となる薬剤師や薬局事務員と共に伝えることができれば素敵だなあ...と思ったことがこの新店舗構想のきっかけです。

(杉浦万正)

◆ ◆
薬局とは何かを探る上で原点やルーツを探ると、フィレンツェ(イタリア)の世界最古の薬局や、医薬分業の発祥の地であり歴史上に薬剤師という職業が初めて定められたドイツのコミュニティ

ファーマシーにたどり着きます。ドイツでは1つ1つが異なり個性のある、地域に根付いた薬局が形成されています。医薬分業が古くから確立されたドイツでは、地域にある医薬品に関する仕事や責任は、地域の薬局薬剤師が担うという気概があり、患者や生活者の健康や医薬品に関する相談は、まず地域で顔見知りの薬局薬剤師に行うという。この生活者から信頼され、何かあったらすぐ薬局薬剤師にという生活者との信頼関係が確立されている「この姿こそ」が地域に根付く薬剤師の原点だと考えました。そこには、地域の健康を守る薬剤師としての誇りと責任、それを培う地道な努力と臨床の積み上げがあり、時代を超えた科学と医療の革新を示す足跡があります。薬局とは地域の健康を守る薬剤師の役割そのものです。

弊社和歌山店のコンセプトとして「原点」「伝統と革新、原点回帰」「薬食同源・不易流行(伝統と革新)」とし、ステージ設定は中世ヨーロッパとしました。信頼感、安心感、高級感の訴求といった伝統美、富裕層や比較的健康意識の高い住

民をターゲットにした「ボディーメンテナンスファーマシー」としています。そのため弊社でアロマの研究を重ね、最適なレシピをヨーロッパに送り、商品開発をしました。また家具等にもこだわりヨーロッパ風、トラディショナルでおしゃれなテイスト感を出しています。患者さんや地域住民に最良な医療情報を提供するなど、薬局が情報のハブとなる必要があることから、デジタルサイネージを数台設置するなどIT化を推進しました。また調剤時間を短縮することで、薬剤師にクリエイティブな発想をしてもらうことを目的に、ヨーロッパの薬局では標準となっているROWA社のVmaxを、和歌山県内の薬局では初めて導入しました。また和歌山県立医科大学薬学部が近隣に設置されることから、大学との連携も積極的に行っていきます。弊社はまだまだ小規模なチェーン薬局ですので、JACP会員の皆様にご指導を賜りながら地域に根付く「いきつけ薬局」を目指していきたいと思っていますので、近畿にお越しの際はご連絡をいただければ幸いです。(川原 淳)



全面ガラス張りの薬局外観(ドイツの薬局の外観と同じ)



投薬カウンターと、BD-Vmaxを設置した調剤室入り口



BD ROWA社のVmax(左側に2つの医薬品の払い出し口、ちなみに高さは3.5mあり世界一の高さである)



安全キャビネットを完備した外来ケモ対応の無菌室



アロマ、化粧品が置かれたアンティーク棚



関西薬局のロゴマークについて